

【基本情報】

科 目 名		ライフサイエンス		単 位 数 (年間予定コマ数)	1 (32)	学 年	1
教 科 書		現代高等保健体育（大修館書店）		副 教 材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）		
科 目 の 概 要		生涯を通じた健康づくりの基礎として、また将来の生活のために役立つ知識・技能・実践する力を身につけるために次の3つの単元で構成している科目である。 ①「現代社会と健康」 ②「生涯を通じる健康」 ③「社会生活と健康」					
科 目 の 到 達 目 標		個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。					
授業の進め方		・教科書と学習ノートを使用して行う講義形式と、グループ学習により調べ学習と発表を行う課題探求形式の2パターンで行う。視聴覚教室でビデオ学習する場合がある。 ・講義形式の授業の流れは、教科書を読み、テーマに基づき板書していく形で進める。 ・課題探求形式の授業では、グループを作り教科書の各単元を割り当て調べ学習を行った後、グループ毎に発表を行う。 ・各テーマにプリントを用い、考える力も身につける。 ・定期考査は、前期・後期の期末考査を2回実施する。					
評 価 規 準	観点別	意欲・関心・態度	思考・判断	知識・理解			
	評価の観点	・健康の保持増進に必要な事柄について関心を持ち、個人および集団の課題解決に向けて意欲的に学習に取り組もうとしているか。	・健康の保持増進に必要な事柄について課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断しているか。	・健康の保持増進に必要な事柄について課題解決に立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。			
	比重	30%	30%	40%			
	評価方法	・工夫したノート作成ができているかを評価します。 ・課題に対するまとめと発表の仕方を評価します。	・授業中の発問に対する対応を評価します。 ・各項目での研究課題に対する情報収集とまとめ、発表の内容について評価します。	・原則的に定期考査の中で「知識・理解」に関わる問題を出題します。			
授業を受けるにあたっての留意点 など		・上記目標を達成するためには、健康・安全に留意し、自ら積極的に授業に参加することが大切である。 ・学習内容をより深めるためには、日常的な社会事象についてニュースや新聞などで情報を集め、健康・安全に関することに興味・関心を高めるとともに、個人および集団の課題を解決する方法を見つけ出すことが求められる。 ・情報をまとめ発表する能力を高めるため、グループ内で協力して取り組むことが大切である。					
家庭学習		各単元で取り上げられる保健にかかわる諸問題について、常日頃から関心をもつとともにテレビ・新聞・雑誌・インターネット等で情報収集する習慣を養う。					
備 考							

単元名と単元の内容	配当時数	学習内容・学習のポイント	到達目標（評価の観点）
1 単元 現代社会と健康 【交通安全・応急手当】 1 交通事故の現状と要因 2 交通社会における運転者の資質と責任 3 安全な交通社会づくり 4 応急手当の意義とその基本 5 心肺蘇生法 6 日常的な応急手当	7	「交通事故を防止するには適切な行動や交通環境の整備などが必要であること、および適切な応急手当により傷害や疾病の悪化を軽減できることなどを中心に学習する。」	「交通事故を防止するには、車両の特性や安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境などが関わることを理解できるようにする。」 「適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化悪化を軽減できることを知る。また、心肺蘇生法などの応急手当は傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていくことがあることを、実習を含めて理解できるようにする。」
【健康の考え方】 7 私たちの健康のすがた 8 健康のとらえ方 9 健康と意志決定・行動選択 10 健康に関する環境づくり	5	「健康の考え方が変化してきていること、健康の保持増進には健康に関する個人の適切な意志決定や行動選択および環境づくりが関わることを中心に学習する。」	「健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていることや、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用のもとに成り立っていることを理解できるようにする。」
前期期末考査	1		
【健康の保持増進と疾病の予防】 11 生活習慣病とその予防 12 食事と健康 13 運動と健康 14 休養・睡眠と健康 15 喫煙と健康 16 飲酒と健康 17 薬物乱用と健康 18 現代の感染症 19 感染症の予防 20 性感染症・エイズとその予防	1 3	「生活習慣病の予防と対策、喫煙・飲酒・薬物乱用の心身への影響、感染症の予防と対策を中心に学習する。」	「生活習慣病の予防には、食事・運動・休養の調和の取れた生活を実践するする必要があることを理解できるようにする。 喫煙・飲酒・薬物乱用については、心身の健康や社会的影響を学び、個人や社会環境への対策が必要であることを理解できるようにする。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いが見られることを学び、その予防には個人的および社会的な対策を行うことが必要であることを理解できるようにする。」
【精神の健康】 21 欲求と適応機制 22 心身相関とストレス 23 ストレスへの対処 24 心の健康と自己実現	5	「ストレスに適切に対処することや自己実現を図る努力が重要であることを中心に学習する。」	「人間の欲求と適応機制には、様々な種類があることや精神と身体には密接な関係があることを学ぶ。また、精神の健康を保持増進するには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であることを理解できるようにする。」
後期期末考査	1		
	合計 3 2		